

はま組 短期案 平成31年1月8日～1月11日

1月7日(月)	8日(火)	9日(水)	10日(木)	11日(金)	12日(土)	13日(日)
(冬季休業日) 安全点検・新学期準備 園内研修	3学期始業式 全体研修会	1月誕生会 園内研修	給食開始 発育測定 フッ化物洗口	もちつきの会 園内研修		

<p><ねらい◎・内容○></p> <p>◎ いろいろな遊びに興味をもち、友達と一緒に遊んだり、初めてのこともやってみようとしたりする。</p> <p>○ 冬休みに経験したことを話したり、友達の話を聞いたりする。 表2(3) 言2(2)(4)</p> <p>○ 自分のしたい遊びを繰り返しやったり、初めてのこともやってみようとしたりする。 健1・2(4) 人1(4・11・12) 環3(8・9)</p> <p>○ 友達のしていることに興味をもち、聞いたり、自分もやってみようとしたりする。 健1・2(2) 言1・2(2・3)</p> <p>○ 遊びの中で思い通りにならなかったり負けたりしても、自分なりに気持ちを立て直そうとする。 人1(2・4)</p> <p>○ 遊びを通して文字や数などに触れる。 環3(8・9・10)</p> <p>◎ 防寒具の着脱や管理の仕方を知る。</p> <p>○ 帽子や手袋などの管理や、濡れたときの行動の仕方を知る。 健3(8) 人1(3)</p>	<p>【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 10項目】</p> <p>① 健康な心と体</p> <p>② 自立心</p> <p>③ 協同性</p> <p>④ 道徳性・規範意識の芽生え</p> <p>⑤ 社会生活との関わり</p> <p>⑥ 思考力の芽生え</p> <p>⑦ 自然との関わり・生命尊重</p> <p>⑧ 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚</p> <p>⑨ 言葉による伝え合い</p> <p>⑩ 豊かな感性と表現</p>
--	--

○予想される幼児の姿	環境構成・教師の援助	教材	振り返り
<p>○ 正月遊びをすることを喜び、友達や教師を誘って遊び出す。カルタやトランプなどのルールのある遊びでは、負けると、くやしくてその場から離れる姿もある。ひもゴマや短縄などは、できないので関心が薄い子どももいる。</p> <p>・ 冬休みに家庭で経験した正月遊びに喜んで取り組む。文字が読める子どもがカルタの絵札やすごろくの指示などを讀んだりして、教師がいなくても自分たちで遊びを進めようとする。</p> <p>・ <u>る・やえ</u>は、自分のやりたいことを主張して、なかなか周りの思いを受け入れることが難しい姿も予想される。</p> <p>・ <u>り</u>は、勝敗にこだわり負けると怒ったりその場を離れたりするが、しばらくの間保育室の端で気持ちを立て直すと、別の遊びに入ろうとする。</p> <p>・ ひもゴマでは、回せるようになったことがうれしくて繰り返し取り組む。しかし、冬休みの経験に個人差があり、<u>と・・・え</u>・<u>た・・・り</u>・・・<u>り</u>は、「自分はできない」と、触れてみようとしないう姿が予想される。</p> <p>○ 久しぶりに友達と会えたことを喜び、冬休みに経験したことを話そうとする。友達の話の中に自分にも共通の経験があると喜ぶ。相手の話に耳を傾けようとする子どももいるが、自分の話を聞いてほしくて友達が話している途中でも話し出す子どももいる。</p> <p>・ 自分の経験を話したり、友達の冬休みの様子に興味をもち相手の話を最後まで聞こうとしたりする姿が増えてくる。</p> <p>・ <u>よ・・・</u>は、相手の話の先を読み取って話し出したり揚げ足をとったりするので、話している子の話が中断されることがある。<u>り・・・り</u>・<u>り</u>・・・<u>り</u>も相手の話の途中で話し出し、なかなか最後まで聞くことが難しい。</p> <p>○ 新学期に入り、着替え袋や提出物など、たくさんの持ち物をもって来るが、自分なりに始末をしようとする。</p> <p>○ 雪や氷に触れて喜んで遊ぶ姿があり、冷たさや硬さを教師や友達に伝える子がいる。また、保育室では水栽培の球根の世話をしながら根や芽の変化に気づき伝える子もいる。</p>	<p>環境構成・教師の援助</p> <p><保育室></p> <p>クロッカス・ヒヤシンスの水栽培</p> <p>自分のロッカー内に、ひもゴマを置き、いつでも手に取って遊べるようにする。</p> <p>本棚</p> <p>棚</p> <p>ピアノ</p> <p>正月遊びの教材を手に取りやすいところに置き場所をつくる。片付けやすいように絵と文字で表記する。</p> <p>友達と一緒に正月遊びが楽しめる空間。遊びに応じて場の広さを変えたり、カーペット・座卓・コタツ(テーブルに布をかける)などを出したりできるようにする。</p> <p>○ 正月遊びを通して、自分の知っているやり方を伝えたり、また友達の話を聞いて様々なルールで遊ぶ面白さを感じたりできるようにする。</p> <p>・ 正月遊びの教材は、収納場所を絵と文字で表示し、子どもたちが友達と一緒に好きな時に手に取ったり片付けたりしやすいようにする。(カルタ3種、すごろく3種、百人一首1箱、トランプ1箱、カードゲーム2種、福笑い3種、羽子板6枚、羽根3)</p> <p>・ <u>り</u>が勝ち負けにこだわる姿には、「負けて嫌だったね。次は勝ちたいね。」と負けて悔しがると子の気持ちを受け止めていく。教師自身も一緒に遊びの仲間に入り、負けた時にくやしがりたり、もう一度やろうとする姿を見せたりして、子どもが次に向かえるようにしていく。</p> <p>・ トランプ・すごろく・坊主めくりなどでは、今までの経験から個々の遊びの様子が違うことが予想される。ルールの違うやり方が出てきたときには「違うやり方もあるんだね。」と声を掛けて、知っているやり方を言い合える状況作りをする。自分の知っている遊び方を伝え合ったりルールの確認をしたりしている姿を見守り、必要に応じて「いろいろなやり方があるね。」「じゃ～ちゃんのをやってから今度は～くんのやり方でしてみようよ。」と教師が仲介しながら、「友達の話を聞く」「自分も話して伝えていく」ことを大切にしていく。</p> <p>・ 文字や数字への興味は個人差が大きいので、トランプやカルタ遊びで文字が分からなかったり、なかなか札が取れなかったりする子どもには、教師がさりげなく援助して「札がとれた！」といううれしさが感じられるようにし、楽しみながら興味をもてるようにする。</p> <p>・ ひもゴマのひもの巻き方(強くギュッと押しさえていく等のコツ)では、教師と一緒に巻いたり、友達の姿を見るように促したりしながら知らせる。繰り返し取り組む姿を十分に認めたり励ましたりして、子どもが自分なりにやってみようとする姿を育てていく。子どもたちの様子を見て回せる子どもが増えてきたら、ひもゴマに模様を描いて、楽しんだり愛着をもったりできるようにする。描いている途中でも、回せる友達にやってもらい、自分の描いている絵や色が回るとどう見えるか試したり発見したりしながら、少しずつ色付けすることを楽しめるようにする。</p> <p>○ 給食後に遊戯室に出て、短縄跳びや長縄跳びに繰り返し取り組んだり、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じたりできるようにする。</p> <p>○ 日めくりやカレンダー、あいうえお表を保育室の目に付きやすいところに貼って、生活の中で文字や数字に触れられるようにする。また、教師がカレンダーや時計を子どもたちへの話の中に取り入れていき、見通しをもちながら生活ができるようにする。</p> <p>○ 冬休みの話をする場面を設け、円形に座り、みんなの顔を見ながら話したり聞いたりできるようにする。同じ体験をした友達の話を聞いて喜んだり、「～ちゃんも？」と教師が聞くことで、子どもが友達と伝え合ったりできるようにする。</p> <p>・ 話の途中で自分の話を始めようとする<u>よ・・・り</u>・<u>り</u>・<u>り</u>には、「今は、～ちゃんが話しているよ。」と小さい声で言葉掛けをしたり、最後まで聞いていたことを十分に認めたりしながら、友達の話を聞けるようにする。</p> <p>○ 教師は、集まりや降園指導のときなどに、子どもたちと手遊びや言葉集めなどをしながらみんなが集まるまで待ったり、話を工夫したりして、子どもたちが話を聞こうとするような状況作りをする。</p> <p>○ 雪が降ったら、タイミングを逃さずに戸外に出て、思い切り遊べるようにする。ハンガー掛けや帽子の置き場を用意して濡れた服の乾かし方を知らせたり、手袋は最後に付けるなどの身支度の仕方を確認したりして、自分で身の回りのことを進んでやるようにする。</p> <p>○ もちつき会では、一人で杵をもってつくことを経験することで、年長組だという自覚や自信につなげていく。</p>	<p>教材</p> <p><表現></p> <p>○ 正月ならではの行事に関心をもって歌う経験。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 十二支のうた ・ カレンダーマーチ ・ もちつき <p>○ 冬の自然を感じながら歌う経験。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゆき ・ ゆきってながぐつすきだって <p><体力></p> <p>○ 自分なりに、また友達と誘い合って体を動かしながら遊ぶ経験。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 羽根つき ・ 短縄 ・ 長縄 <p>(ゆうびんやさん)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鬼ごっこ <p>(氷鬼・手つなぎ鬼など)</p> <p><製作></p> <p>○ 回したらどのように見えるか想像したり試したりしながら描く経験。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ひもゴマに絵を描く。(油性ペン) <p><絵本></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 十二支のおはなし ・ ばばあちゃんのおもちつき ・ つるようぼう ・ ゆきのひのホネホネさん ・ こどものとも1月配本 	<p>振り返り</p> <p>ア： 知っている正月遊びを通して、友達を誘ってやりたいことをしたり、<u>やり方を教え合ったりしている。</u> ③⑤⑨</p> <p>イ： やり方が分からなかったり、うまくできなくて自信がなかったりして苦手意識がある。 ①②</p> <p>ウ： 正月遊びはそれぞれの家庭で様々なやり方があるが、自分のやり方と違うことに折り合いが付けられない。③④⑤⑨</p> <p>エ： 冬休み明けだったので、久しぶりに友達と会えたうれしさから気持ちが高ぶって落ち着かない(話を聞くときの姿勢など)。 ②④</p> <p>オ： 季節を感じて、氷を見つけてくる。話題になって、<u>友達や教師と話をする。</u> ⑦⑨</p>

はま組 短期案 平成31年1月15日～1月25日

14日(月)	15日(火)	16日(水)	17日(木)	18日(金)	19日(土)	20日(日)	21日(月)	22日(火)	23日(水)	24日(木)	25日(金)
祝 成人の日	フッ化物洗口 絵本貸し出し 園内研修	避難訓練	フッ化物洗口				就学前講演会 内野地区 幼小中連携	げんキッズタイム フッ化物洗口 絵本貸し出し		フッ化物洗口	幼保小連携 研究保育

- <ねらい◎・内容○>
- ◎ 一緒に遊びたい友達や興味が同じ友達に、思いを伝えたり相手の話を聞いたりしながら遊ぶ。
 - 遊びの中で思い通りにならなかったり負けたりしても、気持ちを立て直して、あきらめずにやってみようとする。 人1(2・4)
 - 友達のしていることに興味をもち、聞いたり自分もやってみたりする。 健1・2(2) 言1・2(2・3・4)
 - 初めてのことや、少し難しいことに挑戦する。 健1・2(4) 人1(4・11・12) 環3(8・9) 表1・2(1・2)
- ◎ 節分に向かって、友達と手伝い合いながら、自分なりに想像した鬼のお面製作をする。 表2(5) 人2(5・6・7・8)
- ◎ 冬の自然に触れて、自分なりに気付いたり、試したり、友達と伝え合ったりする。 言2(1・2) 環1・2・3(2)

- 【幼児期の終わりまでに育てほしい姿 10項目】
- 健康な心と体
 - 自立心
 - 協同性
 - 道徳性・規範意識の芽生え
 - 社会生活との関わり
 - 思考力の芽生え
 - 自然との関わり・生命尊重
 - 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
 - 言葉による伝え合い
 - 豊かな感性と表現

先期の幼児の姿	環境構成・教師の援助	教材	振り返り
---------	------------	----	------

ア： 知っている正月遊びを通して、友達を誘ってやりたいことをしたり、やり方を教え合ったりしている。

- み・やえは進んでカルタの読み札を読む役になり、友達と一緒にカルタ遊びを楽しんでいた。
- ひもゴマを回せるようになったさは「今度は友達とどっちが長く回っているかの競争をしようよ。」と次はどうかと遊びを考えていた。また、友達と同時にカルタの絵札に触れたときに、「同じだったからジャンケンで決めるのはどう？」と、友達に提案し、ルールを決めていた。
- るはすごろくをする中で、サイコロの出た目で進むだけでなく、止まったところに様々な指示があることの面白さを感じていた。また、りが坊主めくりを止めて、百人一首で自分の知っている神経衰弱にしようとしたときに、「これではできないんだよ。」と知らせ、正月遊びのそれぞれの遊びの特性を感じながら遊んでいた。
- 勝敗にこだわる姿が見られたりは、負けていると感じると大声を出して不安そうにしていたが、すごろくが偶然性で優位になることもあと分かり、負けていても根気強くやろうとしていた。

イ： やり方が分からなかったり、うまくできなくて自信がなかったりして苦手意識がある。

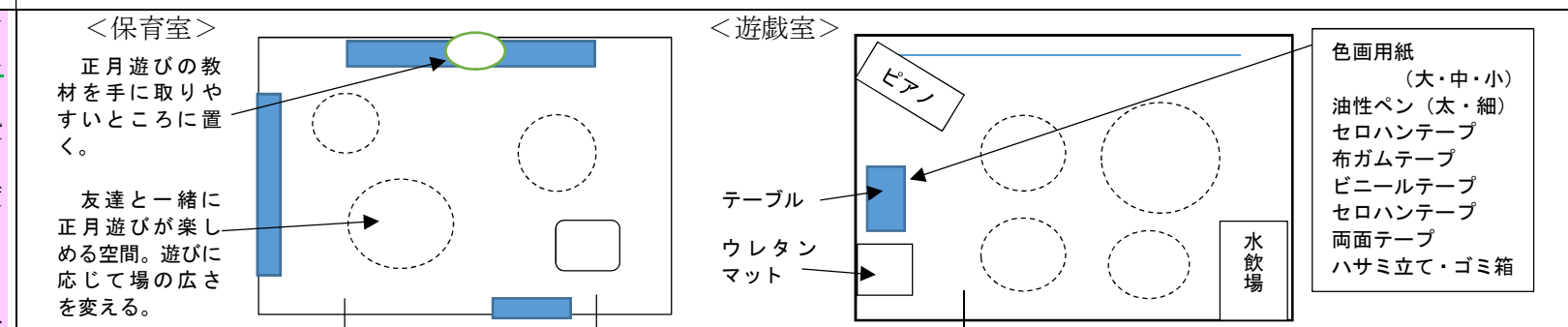
- ひもゴマや短縄など、「できない」と思ってなかなか取り組もうとしなかったり、やってもすぐに抜けてしまったりする姿があった。

ウ： 正月遊びはそれぞれの家庭で様々なやり方があるが、自分のやり方と違うことに折り合いが付けられない。③④⑤⑨

- あがすごろくが早く展開できるようにサイコロを2個使うことを提案するが、るは経験がないのでよく分からず、受け入れられなかった。(それぞれの考えを伝えたり、折り合いを付けたりするための教師の援助が必要である。)
- 今までの経験を生かしながらクラスみんなで手話の歌を作って歌う。えの提案で、みんなで「ゆき」の歌の手話を考えた。みは年中時に歌った本当の手話の動きを思い出して、「～って、こうだったよね。」と伝え、みんなで動きに取り入れた。

エ： 冬休み明けだったので、久しぶりに友達と会えたうれしさから気持ちが高ぶって落ち着かない(話を聞くとときの姿勢など)。

オ： 季節を感じて、氷を見付けてくる。話題になって、友達や教師と話をする。



- 正月遊びに触れて面白さを感じたり自分たちで遊びを進めていこうとしたりする姿があるので、今後は既成のものばかりでなく自分たちで遊びを作っていくことを提案し、一緒に遊ぶ友達や興味が同じ友達に、思いを伝えたり相手の話を聞いたりしながら遊ぶようにする。
- ・ コマ回しの場やすごろくなど、子どもたちの思いを聞きながら素材を準備し、考えたことが実現できるようにする。また、遊戯室に場を移し友達と一緒にダイナミックに遊びが楽しめるようにする。(製作に必要な物も遊戯室に用意し、遊びながら作れるようにする。)
- ・ 遊びを作っていく中で、折り合いが付けられない場面も予想される。子どもが自分たちで解決しようとする姿を見守り、教師は状況に応じて個々への援助をしていく。るは、「聞いてみようよ。」と相手の話をじっくりと聞くことを促していく。また相手にも「～ってどういうこと？」と尋ねて言葉を引き出したり、「～したいのは～だからだよ。」と友達に考えが伝わるような言い方を一緒に考えたりしていく。また、遊んだ後に、「～ちゃんのやり方をやってみて、面白かったね。」と言葉掛けをし、るに「受け入れてみたら楽しかった」という気持ちが感じられるようにする。
- ・ トランプ・カルタ・すごろくなどは、数や文字に触れながら、遊び方を覚えたり順番を守ったりして友達と一緒に遊ぶ経験をさせていく。その中でりは思うように進まなかったり負けたりする場面でも、大声を出して不快な気持ちを表す姿があると思われる。りが自分なりに気持ちを切り替えたときに十分に認めて、嫌なことから逃げるのではなく気持ちを立て直していけるようにする。
- ひもゴマや短縄跳びでは、教師も仲間に入りながら、苦手意識をもっていることも挑戦しようという気持ちももてるようにする。
- ・ ひもゴマを回すのが得意な子に「〇〇くんの回すコツはどうやるの？」と聞き、子どもたちに返すことできっかけを作り、友達同士で教え合えるようにしていく。
- ・ 苦手意識をもっている子には、教師が一人一人の手を支え感覚を伝えながら、コツを知らせていく。少しでもできたときには教師も一緒に喜び、やってみようとする気持ちを育んだり、できたうれしさが感じられるようにしたりする。
- 既成の教材で遊んだ経験から、学級活動の中で大型カルタを作り、チームやクラスみんなで遊べる楽しさが味わえるようにする。チーム対抗にすることで、自分ではうまくいかなくても、同じチームの友達が頑張っている姿を応援したり一緒に喜び合ったりして、友達と力を合わせてやり遂げる楽しさが経験できるようにする。
- ・ 大型カルタ……自分の名前や頭文字で読み札と絵札を作り、文字に触れて遊べるようにする。
- 絵本の読み聞かせや教師の節分の由来についての話などから、「鬼ってどんなかな」と思いを膨らませ、自分なりに想像した鬼のお面が作れるようにする。
- ・ お面作りでは、一人一人の鬼のイメージを大切に、様々な素材から選んで作れるように教材を準備する。(色画用紙7～8色、色画用紙片[顔・髪]、ホイル折り紙、モール、ラメモール、毛糸、リボン、のり、ボンド、両面テープ)
- ・ 製作のときには、生活グループを基準に2人1組になり、手伝ってもらいたいところ(両面テープで接着して筒状を作るなど)を相手に分かるように伝える、相手の指示を聞く、二人でやることで作れるなどの経験ができるようにする。友達同士で協力し合う姿を十分に認め、友達のよさが感じられるようにする。
- 雪や氷の感触、性質などの科学的なものへの気付きができるように、機会を逃さずに出合わせる。子どもたちが感じたことや発見したことを、教師自身も共感し、「～くんが何か見付けたみたいだよ。」と周りにも言葉掛けをして、友達と伝え合っていくようにする。
- ・ 気温の寒暖差があるときには、やりたい子どもが氷作りをできるように環境を用意し、場所や容器を自分なりに試せるようにする。(様々な形のプラスチックのゼリー容器・空き缶・卵ケース[プラスチック・再生和紙]・タライ[大・小]など)

- 色画用紙 (大・中・小)
油性ペン(太・細)
セロハンテープ
布ガムテープ
ビニールテープ
両面テープ
ハサミ立て・ゴミ箱
- 水飲場
- 色画用紙 (大・中・小)
油性ペン(太・細)
セロハンテープ
布ガムテープ
ビニールテープ
両面テープ
ハサミ立て・ゴミ箱
- 水飲場
- 色画用紙 (大・中・小)
油性ペン(太・細)
セロハンテープ
布ガムテープ
ビニールテープ
両面テープ
ハサミ立て・ゴミ箱
- 水飲場
- 色画用紙 (大・中・小)
油性ペン(太・細)
セロハンテープ
布ガムテープ
ビニールテープ
両面テープ
ハサミ立て・ゴミ箱
- 水飲場
- 色画用紙 (大・中・小)
油性ペン(太・細)
セロハンテープ
布ガムテープ
ビニールテープ
両面テープ
ハサミ立て・ゴミ箱
- 水飲場
- 色画用紙 (大・中・小)
油性ペン(太・細)
セロハンテープ
布ガムテープ
ビニールテープ
両面テープ
ハサミ立て・ゴミ箱
- 水飲場
- 色画用紙 (大・中・小)
油性ペン(太・細)
セロハンテープ
布ガムテープ
ビニールテープ
両面テープ
ハサミ立て・ゴミ箱
- 水飲場

- ＜表現＞
- 情景を思い浮かべながら、友達と気持ちを合わせて歌ったり踊ったりする経験。
 - ・ オニはうちでひきうけた
 - ・ まめまき
 - ・ 鬼のパンツ
 - ・ 赤鬼と青鬼のタンゴ
 - 今までの幼稚園生活と重ね合わせながら歌う経験。
 - ・ キラキラがいっぱい
 - 生活の中で数字に触れながら歌う経験。
 - ・ すうじのうた
- ＜体力＞
- 自分なりに、また友達と一緒にルールや順番を守って遊ぶ経験。
 - ・ 羽根つき
 - ・ 短縄
 - ・ 縄跳びポールスタンド
 - ・ ボール…投げる・つく
 - ・ 鬼の卵 (円形ドッジボール)
 - ・ あんたがたどこさ
- ＜製作＞
- 自分の名前や文字で遊びをつくる経験。
 - ・ 大型カルタ
 - 円筒形・円錐形を作る経験。
 - ・ 鬼のお面(円筒形) 十角(円錐形)
- ＜絵本＞
- ・ おにのよめさん
 - ・ こぶとり
 - ・ しまひきおに
 - ・ ももたろう
 - ・ いっすんぼうし
 - ・ ないたあかおに
 - ・ じごくのそうべえ
 - ・ てぶくろをかいて